



発行
 公益社団法人福島県防犯協会連合会
 福島市舟場町2番1号
 福島県庁舟場町分館3F
 ☎024-573-0699
 FAX 024-573-2833
<http://www.bouhanfukushima.com>
 印刷 (株)民報印刷

年末年始における 地域安全運動

平成30年12月10日(月)
 ～
 平成31年1月7日(月)

メインスローガン みんなでつくろう 安心の街

今年も早いもので、間もなく年末年始を迎えようとしておりますが、今年の福島県は、犯罪の発生件数が減少傾向で推移しているものの、殺人や強盗事件などの凶悪事件が増加し、また、子供や女性を狙った犯罪や、依然として後を絶たないなりすまし詐欺など、私たちの身近なところで犯罪が発生し、体感治安の改善には至っていない状況にあります。

年末年始は、時期的に金融機関、コンビニ等を狙った強盗事件やひったくり、車上ねらい等の街頭犯罪の多発が懸念され、また、子供・女性や高齢者が被害者となる事件等の発生も多く見られる時期であります。

このようなことから、警察、県防犯協会連合会や各地区防犯協会、防犯ボランティア等の関係機関・団体、地域の方々の参加による年末年始における地域安全運動を展開し、事件・事故のない住みよい福島県の実現を図ろうとするものです。

県民の皆様のご協力をお願いいたします。



©SUSUMU MATSUSHITA ENTERPRISE
 防犯マスコット「CPくん」

第39回全国地域安全運動福島県民大会 が盛大に開催されました

平成30年全国地域安全運動は、10月11日(木)から20日(土)までの10日間にわたり実施されました。

10月18日(木)には、福島市春日町の「とうほう・みんなの文化センター」において、約1200人の参加の下、福島県民大会が開催され、功労のあった個人や団体に対する表彰が行われたあと、「安全で安心なまちづくりに全力を尽くす」との大会宣言が採択されました。

また、全国万引犯罪防止機構理事兼事務局長の稲本義範氏が、「感謝の心に万引き無し」と題して記念講演を行い、防犯意識の高揚を図りました。

全国地域安全運動では、今年も活動の一環として「地域安全ポスター・標語コンクール」や「地域安全作文コンクール」が行われ、多数の応募をいただきましたが、子どもからお年寄りまで、活動の広がりが感じられる運動となりました。県民の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。



地域安全標語

いかないよ しらないみちと くらいみち

安全・安心なまちづくり



地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介



白河地区防犯指導隊白坂分隊(白河市)

白坂分隊は、渡邊分隊長以下6名で編成され、白河市南部に位置する白坂地区を活動の拠点としています。

同隊は、夜間における危険箇所の点検、JR白坂駅の警戒及び駐輪場における自転車の点検、小・中学生の下校時の見守り、地元住民との情報交換等、安全で住みよい白坂地区の実現のために日々活動しています。



会津若松地区少年警察ボランティア協会(会津若松市)

会津若松地区少年警察ボランティア協会は、少年の健全育成等を目的として、55名の少年補導員で構成され、補導歴のある少年たちと農業体験を行うなど、自らも楽しみながら活動しています。また、毎年7月から各地区で開催される夏祭り(お日市)では、「地域子どもたちを地域で守る」をモットーに地区ごとに祭礼補導を行い、全力で活動しています。



いわき東地区大原第一区防犯対策協議会(いわき市)

大原第一区防犯対策協議会は、平成21年に名称を変更し、今年10年目を迎えました。会員30名で、年間100回以上のパトロールを実施しており、青色回転灯装備車による小学校の下校時間帯のパトロールのほか、状況に応じ、夜間パトロールを実施するなど、地域の安全・安心の確保に大きく貢献しています。

平成30年全国防犯功労者・功労ボランティア団体表彰

本県からは、防犯栄誉金章に大西幸雄氏(喜多方市)、功労ボランティア団体に四倉町防犯協会(代表者木田健氏)が選出され、全国地域安全運動中央大会で受章されました。また、防犯栄誉銀章、防犯栄誉銅章を受章された下記の方々は、第39回全国地域安全運動県民大会県大会(平成30年10月18日(木)福島市:とうほうみんなの文化センター)において伝達されました。長年のご尽力に心からお祝いと感謝を申し上げます。

防犯功労者(11名) (敬称略)

〈防犯栄誉金章〉

- 大西 幸雄 (喜多方市防犯協会駒形支部顧問)

〈防犯栄誉銀章〉

- 片倉 清孝 (地域安全サポーター都路すずらん隊長)
- 仲沼 義春 (須賀川地区防犯指導隊)

〈防犯栄誉銅章〉

- 澁谷 基昌 (伊達市防犯協会連合会堰本支部)
- 穂住八万治 (二本松地区防犯協会連合会副会長)
- 赤井 幸夫 (三春防犯協会会員)
- 大竹 俊通 (古館交番防犯協会前会長)
- 結城志英吉 (喜多方市防犯協会塩川支部支部長)
- 星 徹 (南相馬地区防犯指導隊長)

功労ボランティア団体 (敬称略)

- 四倉町防犯協会 (代表者: 木田 健)

～おめでとうございます～

全国地域安全運動中央大会
平成30年9月27日(木)
東京:明治記念館

防犯栄誉金章



大西 幸雄さん

功労ボランティア団体



四倉町防犯協会
木田 健さん

平成30年地域安全運動 最優秀(ポスター・標語)の小学生を表彰

平成30年地域安全運動・小学生の部最優秀作品賞のお二人が表彰されました。(作品は10月号に掲載済)

最優秀ポスターの
遠藤夕騎さん
(いわき市立
湯本第三
小学校5年)



最優秀標語の本田晃己さん
(会津若松市立城西小学校1年)

平成30年 地域安全運動作文コンクール 審査結果

「平成30年地域安全作文コンクール」の審査が行われ、入選者・入選作品が決定し、入選者には、福島県防犯協会連合会長から表彰が行われました。小学生99点、中学生754点 計853点の多数の応募をいただきましたが、いずれの作品も、地域の安全に対する熱い思いが感じられる作品でした。ありがとうございました。なお、最優秀作品は、福島県防犯協会連合会のホームページに掲載していますのでご覧ください。(小学生の部最優秀作品は下欄のとおりです。)

小学生の部 入選者

(敬称略)



中学生の部 入選者

(敬称略)



最優秀 割れ窓を許さない

優秀 たくさんの人の目がぼくらを守る

優秀 安心してくらせる街

優秀 こんなルールがあったらいいな

佳作 ぼくの祖父のパトロール

佳作 おじいちゃんはみまもりたい

佳作 地域みんなで安全な街づくり

佳作 みんなでつくる安心安全

佳作 私の町の安全

湊 一真 (いわき市立平第一小学校6年)

長谷川慶佑 (国立大学法人福島大学附属小学校2年)

関根 綺花 (白河市立みさか小学校4年)

照井ちひろ (会津若松市立行仁小学校4年)

菅野 陽向 (川俣町立山木屋小学校6年)

菊地 結斗 (白河市立白河第五小学校1年)

長谷川ゆり (小野町立小野新町小学校6年)

今泉 一耀 (小野町立夏井第一小学校4年)

小竹 璃音 (会津若松市立城北小学校6年)

最優秀 なりすまし詐欺師の意図を探る

優秀 大切な個人情報

優秀 三つの力

優秀 子ども食堂と地域の安全

佳作 なりすまし詐欺被害対策

佳作 地域みんなでみんなを守ろう

佳作 まず、挨拶から

佳作 犯罪をなくしていくために

佳作 笑顔あふれる安全安心な私の地域

鈴木 佳乃 (いわき市立泉中学校3年)

松原 陽向 (桑折町立釧芳中学校3年)

米山 海 (郡山市立熱海中学校3年)

根本隆太郎 (いわき市立泉中学校3年)

佐藤 美緒 (福島市立第四中学校1年)

佐藤 歩 (二本松市立東和中学校1年)

田中茉由菜 (郡山市立郡山第四中学校3年)

斉藤 里菜 (塙町立塙中学校1年)

鈴木暖乃香 (いわき市立泉中学校1年)

最優秀作品 (小学生の部)

割れ窓を許さない

いわき市立平第一小学校6年 湊 一真

ぼくの登校班には、毎朝、地区の見守り隊の方が集合場所に来てくれて、集団登校を見守ってくれます。それだけではなく、登校班のみんなの様子を気にしてくれていて、元気がない子、眠そうな子などには特に声をかけてくれます。ぼくは、野球のスポーツ少年団に入っていますが、週末の練習や試合で疲れているときには、見守り隊の方への朝のあいさつがおそろかになっちゃうときがあります。そんなときは「眠そうだな。大丈夫か。」などと声をかけてくれます。見守り隊の方は平日だけではなく、週末に行われる学校行事の時にも見守りをしてくれます。小学校に入学してから、当たり前のことのように感じっていますが、両親はとてありがたい活動だと言っています。

父は、ぼくに「割れ窓理論」という理論があることを教えてくれました。割れた建物の窓を放置していると「誰もこの地域は関心を払っていない。」というサインになり、犯罪を起しやすき環境を作り出すという考えだそうです。そのため父は、地域でいっせいで清掃をしたり、のびた草を切ったりして、地域をきれいに保つことは、犯罪や非行のない安全な生活には必要なことだと言います。

ぼくは、父の話を聞いて見守り隊の方の活動もぼくたち小学生の安全な登校を見守ってくれるだけでなく、地域に関心を払っている人がいることを示す意味でも役立っているのだと思いました。

新聞やテレビで、毎日のように犯罪のニュースが報道されています。幸いぼくの身の回りでは、このような犯罪が起きたと言うことは聞きませんが、それは見守り隊の方をはじめ、地域の人たちが地域に関心をもち、地域をきれいに、そして安全を保ってくれているおかげだと気づきました。

地域に関心をもち、地域をきれいに保つことは、ぼくにも協力することができます。地域の人と元気にあいさつをする、落ちていたゴミを拾う、地域の活動に参加するなどです。地域の安全は地域の人々の協力でありたいことを心に留めて、地域の人たちが安心して、安全に暮らせるようにぼくも協力していきたいと思っています。



(((補導員の手記)))

猪苗代警察署

副主任少年補導員 鬼頭美鈴



自分を大切に思う気持ちを育てる。

少年の面接指導などを行っている、「自分は大切な存在だ。親から愛されている。」などを感じる自己肯定感の低い子どもが多いように思われます。

「自分は邪魔な人間だ。生まれてこなければよかった。」等の言葉を受けることがあるからです。

「うざい。あっち行け。」

中学校を卒業して間もないAちゃんが、古い釘で自分の腕に傷をつけた後、駆けつけた私の前で、母親に言った言葉です。

Aちゃんは、それまでも自傷行為や家出を繰り返し、他者とのトラブルが多く、児童相談所や児童自立支援施設に入所していた子どもです。

Aちゃんは、ある時、私に、「本当はママが大好き。でも、この家に私の居場所はない。自分は家族にとって不要な人間だから、そのうち捨てられる。」と辛い胸中を打ち明けてくれたのです。

お母さんは、Aちゃんとの関わり方が分からず、Aちゃんを目の前にすると自分の思いを伝えることができませんでした。

子育ては、自分とは違う、ひとりの人間相手に、時に

は正解のない問題と向き合っていかなければならず、容易にできるものではありません。

しかし、子どもは、大人からプラスの言葉をたくさんかけてもらったり、笑顔を向けてもらったりすると、自分を大切に思う気持ちが育ちます。

そこで、私は、地域の方々の「地域で子どもを育てる。」という深い愛情活動が重要になっていると思います。

子どもは、地域の方々から、生活の中でのあいさつ、言葉かけ、ほめ言葉、好ましくない行動への注意等をされることで、自己肯定感が養われ、地域における自分の役割や自分の周りにいる人々の大切さに気付くようになり、より良い人間関係を築いていくと、私は思うのです。

「うざい。あっちいけ。」と言っていたAちゃんも、人々との関わりを持ち、一進一退しながら日々を過ごしていくうちに、いつしか心を開くようになり、先日、私に結婚を約束した人を紹介してくれました。

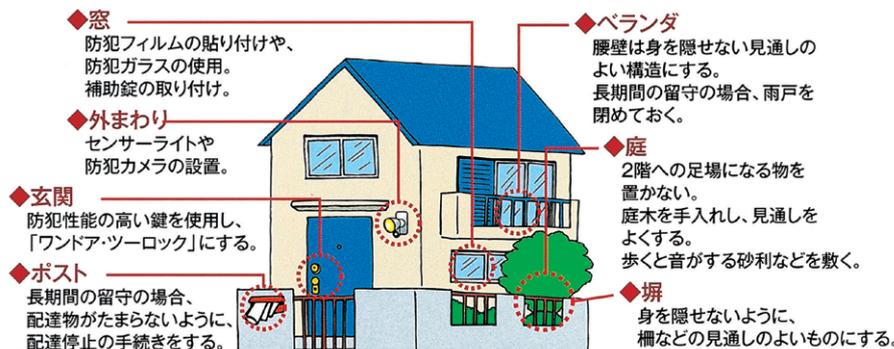
Aちゃんの表情は幸せでいっぱいでした。自分を理解し、自分のことを気にかけて、自分を支えることを考えてくれる存在がいることは、今後も生きる支えになることでしょう。

Aちゃん、あなたはそのまま、十分大切な存在ですよ。ありのままのAちゃんが大好きです。

年末年始の外出時は、特に侵入盗に注意しましょう。戸締まりをお忘れなく!

侵入者が嫌がる環境づくり

侵入をしようとする者は、侵入に時間がかかったり、人に見られたりすることを嫌います。そのため、防犯性能の高い建物部品を使用するとともに、ご近所と常日頃からコミュニケーションをとっておくことが犯罪抑止につながります。



「福島県自転車防犯登録推進協会」から

必ずしよう 自転車防犯登録

●自転車防犯登録は、法律で義務づけられています。自転車を購入した際は、必ず防犯登録をしましょう。

詳しくは福島県防犯協会連合会のホームページをご覧ください。



賛助会員募集中

公益社団法人福島県防犯協会連合会は、**犯罪の防止、青少年の非行防止、覚醒剤等薬物乱用防止、自転車盗難の防止、風俗環境の浄化**などに取り組んでおり、その活動をより充実したものとするため、賛助会員を募集しています。皆様のご協力をお願い申し上げます。詳しくは、当連合会のホームページをご覧ください。

地域安全標語

あいさつは 地域の心を つなぐ糸